

## 建物および設備における主な石綿使用状況

平成17年8月5日現在

対象	使用箇所	現状（使用状況等）	備考（対応状況他）	
石綿を含有する吹付け	設備機器室、倉庫、展示館等の防音材、断熱材、耐火材として壁面や天井に使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用箇所を把握し計画的に対策を施してきている。引き続き、詳細な調査を継続していく。</li> <li>自社建物：12棟</li> </ul>	石綿の含有が判明した箇所では、定期的に点検を行うとともに、出入管理を徹底するなどして管理している。展示館は閉館。可能な限り早期に対策を実施していく。	
石綿含有製品	建材	建物の耐火ボード、床材等に使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>H16.10以前に使用された建材に含まれていると考えられる。それ以降は石綿含有製品は使用していない。</li> </ul>	成形品であり、通常状態において飛散性はないため、定期検査や修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取り替えていく。
	防音材	変圧器の防音材（変電設備）	<ul style="list-style-type: none"> <li>石綿を含有する可能性がある設備台数は以下の通り、含有について詳細調査中。3台</li> </ul>	成形品であり、通常状態において飛散性はないため、定期検査や修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取り替えていく。
	石綿セメント管	地中線用の管路材料（送電設備）	<ul style="list-style-type: none"> <li>亘長：約0.6km</li> </ul>	成形品であり、通常状態において飛散性はないため、定期検査や修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取り替えていく。
	保温材	発電設備（火力設備）	<ul style="list-style-type: none"> <li>石綿含有製品残数：約23,000m<sup>3</sup>（全数の約2割）</li> </ul>	成形品であり、通常状態において飛散性はないため、定期検査や修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取り替えていく。
	シール材・ジョイントシート	発電設備（火力設備）	<ul style="list-style-type: none"> <li>石綿含有製品残数：約34,000個（全数の約半数）</li> </ul>	成形品であり、通常状態において飛散性はないため、非石綿製品のあるものについては、定期検査や修繕工事の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取り替えていく。